

Report

レポート

トリードインターナショナル ユースアカデミー2018

平成30年7月22日から8月5日までの2週間、豊橋市の6名の高校生（男子2名、女子4名）が豊橋市の姉妹都市であるアメリカ合衆国オハイオ州トリード市を訪問し、トリード大学での International Youth Academy 2018 (IYA2018) に参加しました。現地では5名のアメリカ人生徒が参加し、寮生活をするルームメイトとして授業中はもちろん、生活全般のお世話をしてくれました。

授業では、2週目に入ると「英語を日本語に置き換えて」考えていたものが「英語でそのまま理解できる」ようになり、コミュニケーションがスムーズになっていきました。生活面においても、「ところ変われば品変わる」で、「いかにもアメリカ」的な娯楽や食習慣の違いを満喫しました。

高校生が、2週間もの長い間親元を離れ、言葉の通じない人たちの中で生活をするということが、人生にどれほど大きな影響を与えるのかは全く想像もつかないことですが、この体験を終えて「なんとかなった」という達成感とともに「もっと話せたら、もっと伝えられたのに。もっと知ることができたのに」という歯がゆい気持ちも忘れないで今後の生活に生かして欲しいと思います。（同行教諭：小坂井高等学校 松本万里子先生の報告書から抜粋）



トリード市長表敬訪問

〈派遣高校生の皆さん〉

原有紀名、市川希香、松澤拓未、中島榛那、長坂優希音、板倉義空

2

外国人児童サマースクール事業を実施しました

日本語能力がハンディとなり学習に困難を抱える外国人児童のために、地域のボランティアが学習支援を行うサマースクール事業を、今年度も夏休み期間中に集住地域の9校区で実施しました。高校生を含め126名のボランティアが343名の児童を支援しました。

- ◆実施期間 7月23日から8月22日（各校区4～9日間開催）
- ◆実施校区 岩田、汐田、中野、岩西、飯村、栄、石巻、二川、鷹丘
- ◆支援内容 国際学級の先生と協力し、夏休みの日誌、習字、工作、ポスター等を、児童と一緒に日本語で取り組みました。



汐田校区市民館にて

毎年多くの方にボランティアとしてご協力をいただいておりますが、まだまだ人数が足りず、きめ細やかな指導ができない学校もあります。この活動は、ボランティア一人ひとりが大きな役割を果たしています。外国語が話せなくても、日本語で教えられますし、ボランティア事前研修等もあります。これからの未来を担っていく子どもたちのために、皆さんもボランティア活動を始めてみませんか。

おかげさまで創業80周年



武蔵精密工業株式会社

本社/豊橋市植田町字大膳39-5
http://www.musashi.co.jp/

